

DIG

dual digital delay

日本語ユーザーマニュアル



strymon®

もくじ

各部の名称と働き	3
フロントパネル・コントロール	3
リアパネルI/O & コントロール	5
ライブエディット機能	7
ドライレベル	7
コンフィグモード	9
シンク(同期)/フリーモード	12
Delay 1 サブディビジョン	13
Delay 2 リピート	14
MIDI クロックとの同期	15
MIDI エクスプレッションへの反応	16
パワーアップモード	17
入力レベル	17
バイパスモード	18
スピルオーバーモード	19
EXP/MIDI ジャックの設定	20
外部コントロール	22
エクスプレッションペダル セットアップ	22
フェイバリットスイッチ セットアップ&コンペア モード	23
タップ モード	25
MultiSwitch Plus の設定、使用法	26
本機のプリセットをMultiSwitch Plus でセーブする	27
MIDI 機能	28
MIDI チャンネルの設定	28
MIDI モードにおけるプリセットの保存	33
MIDI スペシフィケーション	34
MIDI プログラムチェンジ	34
MIDI CCs	35
ファクトリーリセット	36
主な仕様	38
スペシフィケーション	39
Appendix 1: サンプルセッティング	40
Appendix 2: パワーアップモード クイックリファレンス	42
ジェネラル・オプション	43
MIDI & Jack オプション	44
Appendix 3: ライブエディットコントロール クイックリファレンス	45
品質保証に関して	47

各部の名称と働き

フロントパネル・コントロール

MOD

ディレイ信号に加えられるモジュレーションの深さを選択します。

Off : モジュレーション無し

Light : 微量のモジュレーション

Deep : 深くリッチなモジュレーション

TIME

ディレイ1 (Delay 1) のディレイタイムを調整します。このディレイがマスターとして両ディレイをコントロールします。詳しくは12ページをご覧ください。

TIME 2

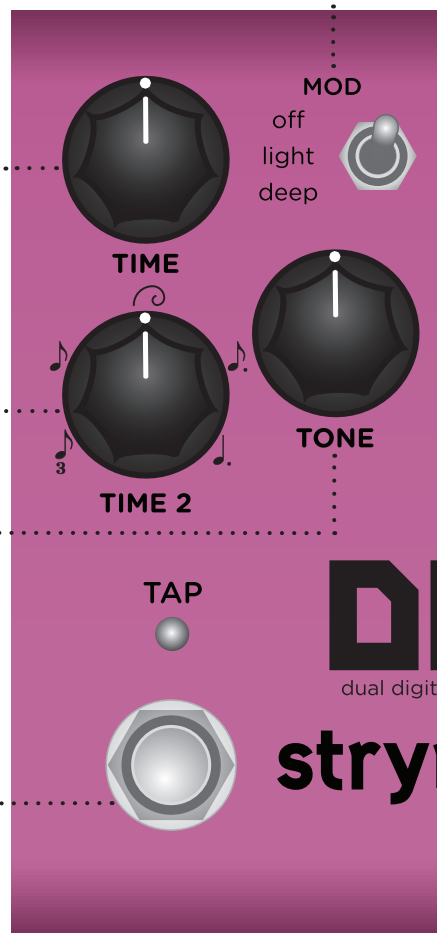
リズムパターンを決定するディレイ1と 2 のサブディビジョンを決定します。3連、8分、符点8分、符点4分、ゴールデンレシオが選択できます。

TONE

フィードバック音のフィルターを設定します。左に回すとハイがカットされ、右に回すとローがカットされます。12時の位置がフラットポジションです。

TAP

マスターディレイタイムをフットスイッチでタップ入力します。タップ入力テンポに合わせてLEDが**レッド**に点滅します。



NOTE : タップフットスイッチを長押しするとサーキュラーリピート（繰り返し）が再生され、離すとノーマルリピートへ戻ります。

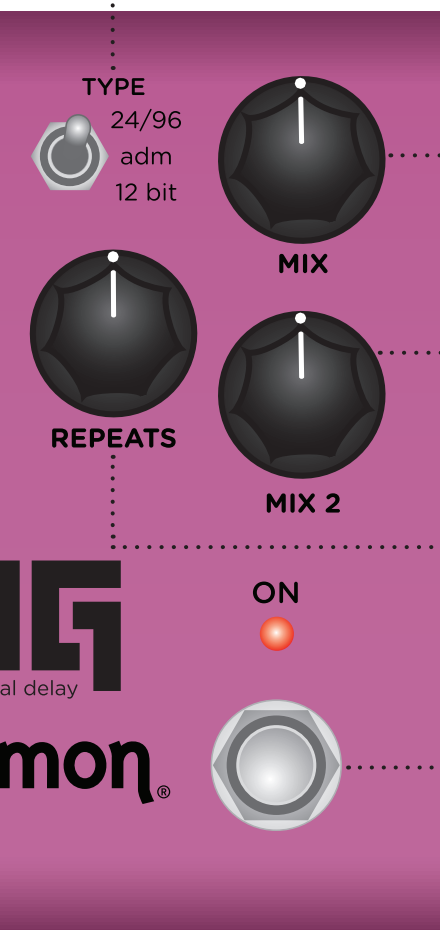
各部の名称と働き

フロントパネル・コントロール

TYPE

3つの異なるディレイキャラクターを切り替えます。

- **24/96**：モダンでピュアな24bit/96kHzハイレゾ・ディレイ、安定のダイナミクスにカラーリングされないリピートが得られます。
- **adm**：80年代のアダプティブ・デルタ・モジュレーションのディレイを再現しています。入力信号のダイナミクスが上がると、立ち上がりが早く跳ねるようなパーカシブなサウンドになります。
- **12 bit**：80年代中期の12bitパルス・コード・モジュレーションを再現しています。温かく暗めの音色が特徴です。



MIX

ミックスディレイ1のドライ/エフェクト信号のミックスバランスを調整します。3時の位置で50：50ミックスです。

MIX 2

ディレイ2のドライ/エフェクト信号のミックスバランスを調整します。3時の位置で50：50ミックスです。

REPEATS

両ディレイのリピート数を設定します。
詳しくは[14ページ](#)をご覧ください。

EFFECT ON

エフェクト/バイパスを切り替えます。エフェクトがオンの時、LEDが**レッド**に点灯します。トゥルーバイパスがデフォルト設定です。バイパスモードの選択は[18ページ](#)をご覧ください。

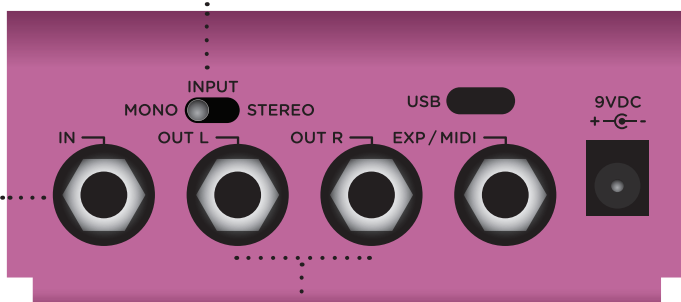
リアパネル I/O & コントロール

オーディオ入力セクター

MONO : ギターのようなモノ入力信号に使用します。

出力はステレオです。モノ出力での使用は**OUT L**のみを使用します。

STEREO : ステレオ入力信号の場合に選択します。出力はステレオです。



IN

モノラル、超低ノイズのディスクリート Class A JFET プリアンプ入力です。
ステレオ入力には TRS ステレオアダプターまたは TRS ステレオケーブルを使用します。

OUTPUTS

ローインピーダンスのステレオ出力です。モノ出力使用時は **OUT L** のみ接続してください。

リアパネル I/O & コントロール

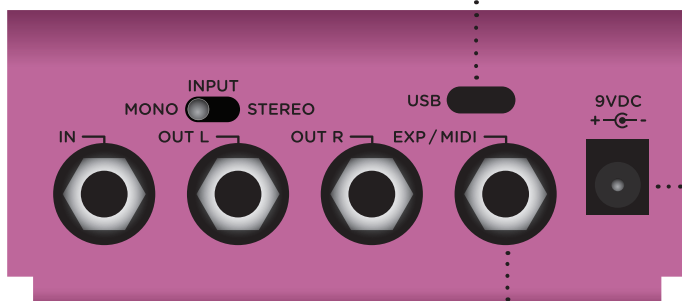
USB

MIDIコントロール、ファームウェアアップデートを行う際にコンピューターと接続するポートです。

9VDC

9VDC（センターマイナス、300mA以上）の電源と接続します。

- 9VDC センターマイナス
- 300mA以上



EXP / MIDI

本機を外部からコントロールできるマルチコミュニケーションジャックです。以下のオペレーションモードが選択できます。（詳しくは[20ページ](#)をご覧ください。）

エクスプレッションペダルモード：[ページ22](#)

フェイバリットモード：[ページ23](#)

Tapモード：[ページ25](#)

MIDIモード：[ページ33](#)

MultiSwitch Plusとの使用：[ページ26](#)

ライブエディット機能

以下のステップでライブエディットモードに入り、セカンダリー機能のコントロールを設定します。

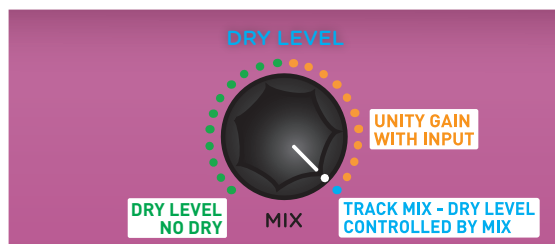
ドライレベル

ドライレベルは“Track Mix”（トラックミックス）として **MIX** と **MIX 2** ノブでコントロールされます。ドライ信号レベルはマニュアル操作のオプションもあります。

- 1 **ON フットスイッチ**を長押ししてライブエディットモードへ入ります。
LED が点滅したらスイッチを離します。



- 2 **MIX (DRY LEVEL)** ノブを回してドライレベルを決めます。
両 LED が**グリーン**（最小～最大ドライ信号レベル / パラレルエフェクトループ接続時）、**アンバー**（ドライ入力信号とドライレベルがマッチした状態）に点灯します。



ドライ / ウェットのバランスを **MIX** と **MIX 2** ノブで調整して、Track Mix (**BLUE**、デフォルト設定) を決めます。

ライブエディット機能

- ③ ON フットスイッチを押し、ドライレベルセッティングを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : ドライレベルは、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

ライブエディット機能

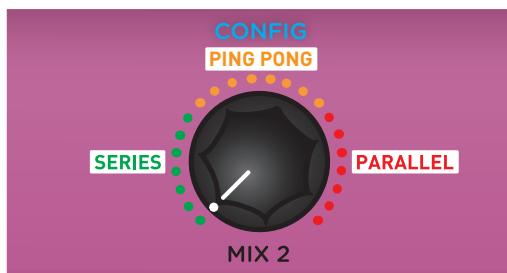
コンフィグモード

Series（シリーズ）、Ping Pong（ピンポン）、Parallel（パラレル）のデュアルディレイの接続構成を決めます。

- 1 **ON フットスイッチ**を長押ししてライブエディットモードに入ります。
両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 **MIX 2 (CONFIG)** ノブを調整し、設定したいコンフィグを選びます。
下記の設定は **ON LED** で表示されます。



- 左に回すとシリーズ接続：**グリーン**（デフォルト設定）
- センターでピンポン：**アンバー**
- 右に回すとパラレル：**レッド**

NOTE : 詳しくは[10ページ](#)のデュアルディレイ コンフィグ モードをご覧ください。

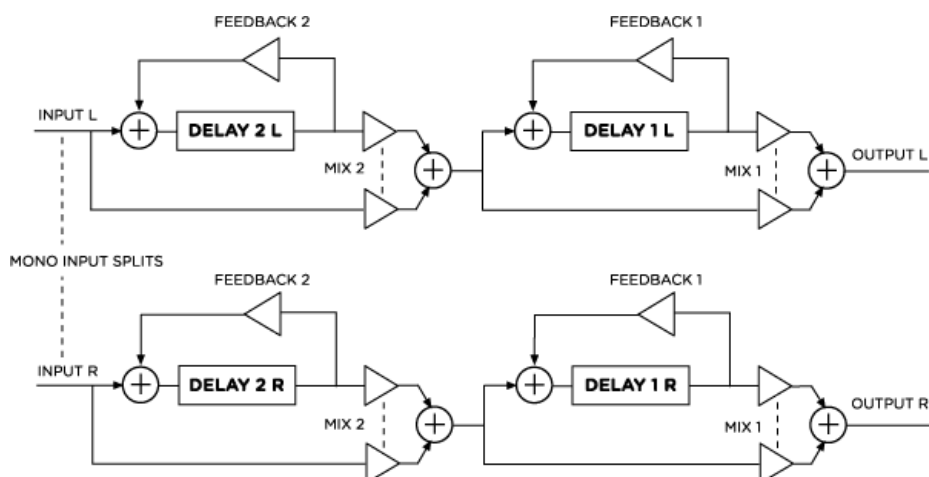
- 3 **ON フットスイッチ**を押し、このセッティングを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : このオプション設定は、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

ライブエディット機能

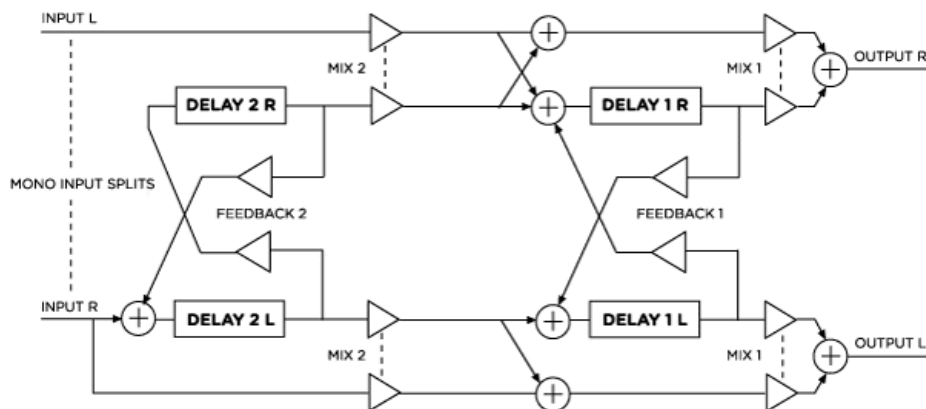
Series（シリーズ接続）

シリーズ接続では、図のようにディレイ 2（リズミックサブディレイ）の信号がディレイ 1 に送られます。これはペダルボード上で 2 台のディレイが直接接続されたのと同じです。モノラル入力の場合は、L & R チャンネルに信号が入力されます。



Ping Pong（ピンポンモード）

ピンポンモードでは、2 台のディレイが図のように“ピンポン”構造に接続されます。

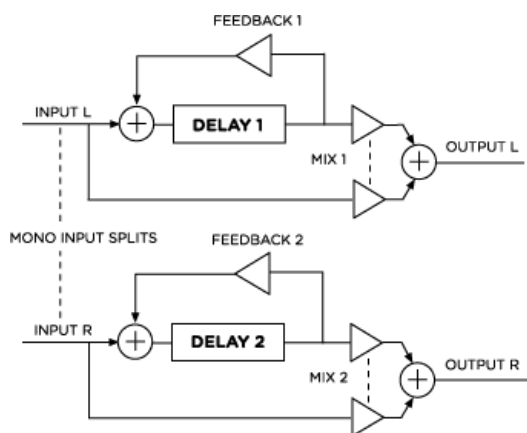


ステレオ出力時は、リピートが L & R にクロスフィードされ、Mix を上げると LR の動きがあるピンポンディレイパターンが生まれます。モノラル出力時は SERIES（シリーズ）と同じ効果になります。

ライブエディット機能

Parallel (パラレル接続)

パラレル接続では、両ディレイは LR で切り離されており、LR それぞれに出力されます。



ステレオ時は、ディレイ 1 が L チャンネル、ディレイ 2 が R チャンネルです。R 出力が使用されていない時、ウェット信号はモノにサミングされ、両ディレイは L 出力から聞こえます。

ライブエディット機能

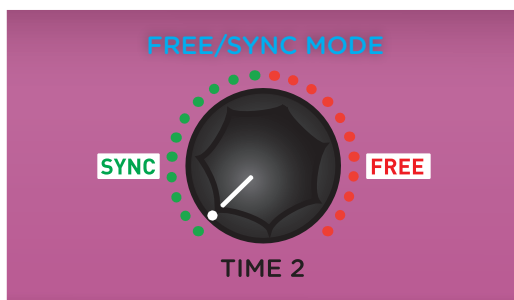
シンク（同期） / フリーモード

Delay 1 と Delay 2 の同期やサブディビジョンの可否を決定します。

- 1 ON フットスイッチを長押ししてライブエディットモードに入ります。
両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 TIME 2 (SYNC/FREE MODE) ノブを回してモードを選択します。
両 LED が下記の選択した設定を表示します。



- 左に回してシンクモードを選びます。: **グリーン**（デフォルト設定）、Delay 1 と 2 のシンクとサブディビジョンが決定できます。
- 右に回してフリーモードを選びます。: **レッド**。TIME2 ノブが 20ms ~ 1.6s のフルディレイレンジをカバーします。

- 3 ON フットスイッチを押し、このセッティングを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : このオプションは、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

ライブエディット機能

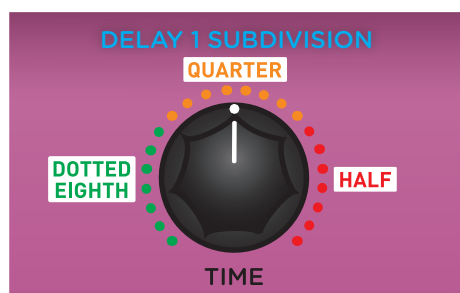
Delay 1 サブディビジョン

Delay 1 サブディビジョンをタップテンポで設定します。

- 1 ON フットスイッチを長押ししてライブエディットモードに入ります。
両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 TIME (DELAY 1 SUBDIVISION) ノブを回し、サブディビジョンバリューを決めます。
TAP LED が点灯して選択を表示します。



- 左に回し付点 8 分音符を選びます。グリーン
- センターポジションで 4 分音符を選びます。
アンバー (デフォルト設定)
- 右に回し 2 分音符を選びます。レッド

- 3 ON フットスイッチを押し、Delay 1 サブディビジョンを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : このオプションは、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

ライブエディット機能

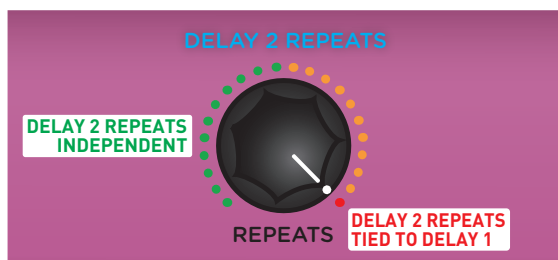
Delay 2 リピート

Delay 2 のリピート数を独自に設定する、または Delay 1 にセッティングされる REPEATS ノブをフォローする、それらのどちらかを選択します。

- 1 **ON フットスイッチ**を長押ししてライブエディットモードに入ります。
両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 **REPEATS (DELAY 2 REPEATS)** ノブを回してリピートを決めます。
両 LED が設定を以下のように表示します。



- Delay2 リピート独立設定：**グリーン**
- Delay2 リピートが Delay1 と関連（同期）：**アンバー**（デフォルト設定）
- Delay2 リピートが Delay1 と同一：**レッド**

- 3 **ON フットスイッチ**を押し、Delay 2 のリピートセッティングを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE：このオプションは、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

ライブエディット機能

MIDI クロックとの同期

本機の Delay 1 のディレイタイムと MIDI クロックの同期を決定します。

① ON フットスイッチを長押しします。

両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



② TYPE (MIDI CLOCK SYNC) スイッチで、DIG と MIDI クロックとの同期設定を決定します。両 LED が一時的にステータスカラーに点灯します。

- スイッチをダウン (12bit) にして同期をオフにする：**レッド** (デフォルト設定) - MIDI クロックと非同期です。
- スイッチを **24/96** にして同期をオンにする：**ブルー** - MIDI クロックと同期します。

NOTE : MIDIに同期すると、LEDが**ピンク**に点灯します。**TIMEノブ**が入力されるクロックテンポのマルチプライヤー/ディバイダーの働きをします。設定は左からx4 (最小)、x3、x2、x1 (12時の位置)、1/2、1/3、1/4 (最大)

③ ON フットスイッチを押し、MIDI クロック設定を保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : MIDIクロックセッティングは、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

ライブエディット機能

MIDI エクスプレッションへの反応

MIDI モード設定の際、本機が MIDI エクスプレッション CC#100 を受け (0= ヒール～127= トウ)、TRS エクスプレッションペダルと同様のノブセッティングコントロール動作をするかを決定します。

① ON フットスイッチを長押しします。

両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



② MOD (MIDI EXP) スイッチで MIDI エクスプレッション CC#100 への反応を決定します。両 LED が一時的にステータスカラーに点灯します。

- スイッチを **off** にセットすると MIDI エクスプレッションが**オン**になり、一時的に**ブルー**に点灯します。- MIDI エクスプレッションに反応します。(デフォルト設定)
- スイッチを **deep** にセットすると MIDI エクスプレッションが**オフ**になり、一時的に**レッド**に点灯します。- MIDI エクスプレッションに反応しません。

③ ON フットスイッチを押し、MIDI エクスプレッションを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : MIDIエクスプレッションセッティングは、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

パワーアップモード

入力レベル

エフェクトプロセッシングへの入力レベルの選択です。

- 1 **ON フットスイッチ**を長押ししながら電源を接続します。
両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 **TIME (INPUT LEVEL)** ノブで入力レベルモードを変更します。
ノブを回すと TAP LED がステータスカラーに点灯します。

- **インストルメント：グリーン** (デフォルト設定) - 入力のヘッドルームがギター信号レベルに設定されます。
- **ライン：レッド** - 入力ヘッドルームが 10dB 上がり、ラインレベルに対応します。

- 3 いずれかのフットスイッチを押し、入力レベルを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE：パワーアップモード設定は、同じ方法で変更されるまで有効です。
セッティングはプリセット毎に保存できません。

パワーアップモード

バイパスモード

本機でバッファードバイパスを選択すると、長いケーブルでギターを繋いだ時に起こる（入力信号の）高域の劣化が防げます。

- 1 **ON フットスイッチ**を長押ししながら電源を接続します。
両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 **MIX (BYPASS MODE) ノブ**でバイパスモードを変更します。
ON LED がステータスカラーに点灯します。

- トゥルーバイパス：**グリーン**（デフォルト設定）
- バッファードバイパス：**レッド**

- 3 いずれかのフットスイッチを押し、バイパス設定を保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE：パワーアップモード設定は、同じ方法で変更されるまで有効です。
バイパスモードの設定はプリセット毎には保存されません。

パワーアップモード

スピルオーバー モード

モードにセットすると、バイパスまたはプリセットの切り替え時にディレイ信号（ウェット）がそのまま残ります（出力されます）。

NOTE: ディレイバッファの設計上、スピルオーバーが再生される前に、使用中のプリセットが最低でも5秒はアクティブでないと正しく動作しません。バイパスの場合は即座に有効になります。

- 1 **ON フットスイッチ**を長押ししながら電源を接続します。
両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 **TONE (SPILLOVER MODE) ノブ**を回し、スピルオーバー モードオン / オフを決定します。ノブを回すと両 LED がステータスカラーに点灯します。

- スピルオーバー モード - オフ：アンバー（デフォルト設定）
- スピルオーバー モード - オン：パープル

- 3 いずれかのフットスイッチを押し、スピルオーバー モードを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE: パワーアップモード設定は、同じ方法で変更されるまで有効です。セッティングはプリセット毎に保存されません。

パワーアップモード

EXP/MIDI ジャックの設定

- 1 TAP フットスイッチを長押ししながら電源を接続します。
両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 MIX (EXP/MIDI JACK) で EXP/MIDI ジャックの動作機能を変更します。
ON LED がステータスカラーに点灯します。

- **エクスプレッションペダルモード：グリーン**（デフォルト設定） - TRS エクスプレッションペダル（推奨 25k Ω）を接続し、アサインしたコントロールノブがペダルから操作できます。（詳しくは [22 ページ](#)をご覧ください。）
- **フェイバリットモード：アンバー** - strymon MiniSwitch でフェイバリットセッティングがリコールできます。（詳しくは [23 ページ](#)をご覧ください。）
- **タップモード：レッド** - LAG TIME がタップインでセットできます。推奨フットスイッチ：strymon MiniSwitch（詳しくは [25 ページ](#)をご覧ください。）
- **MIDI モード：ブルー** - strymon MultiSwitch Plus（3 プリセット）でプリセットリコールが可能です。また、ジャックが 1/4" TRS MIDI 仕様になり、MIDI コントローラー（300 プリセット）を接続して MIDI フル機能が使用できます。（MultiSwitch Plus に関しては [26 ページ](#)、MIDI に関しては [33 ページ](#)をご覧ください。）

パワーアップモード

EXP/MIDI ジャックの設定



- 3 いずれかのフットスイッチを押し、EXP/MIDI ジャック設定を保存してプレイモードへ戻ります。

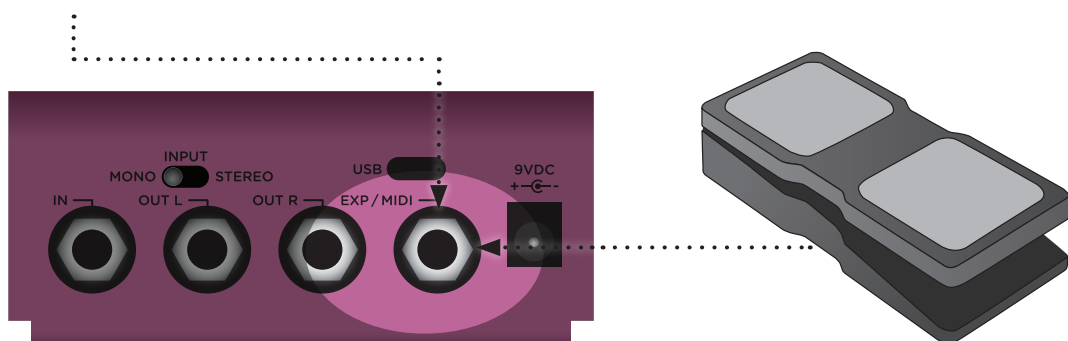
NOTE : パワーアップモード設定は、同じ方法で変更されるまで有効です。設定はプリセット毎には保存されません。

外部コントロール

エクスプレッションペダル セットアップ

TRSタイプのエクスプレッションペダルで、本機のコントロールノブを操作することができます。

- 1 EXP/MIDIジャックをエクスプレッションモードに設定します。
(詳細は[20ページ](#)をご覧ください。)
- 2 EXP/MIDIジャックにエクスプレッションペダルをTRSケーブルで接続します。



- 3 両LEDが**グリーン**に点滅するまで、両フットスイッチを同時に長押しします。
- 4 エクスプレッションペダルをヒール側にロックします。
TAP LEDのみが**グリーン**に点滅します。
- 5 ペダルのヒールポジションでコントロールしたいノブポジションを決めます。
TAP LEDのみが**レッド**に点灯します。
- 6 エクスプレッションペダルをトゥ側にロックします。
ON LEDのみが**グリーン**に点滅します。
- 7 ペダルのトゥポジションでコントロールしたいノブポジションを決めます。
ON LEDのみが**レッド**に点灯します。
- 8 いずれかのフットスイッチを押し、エクスプレッションペダルセットアップを保存してプレイモードへ戻ります。

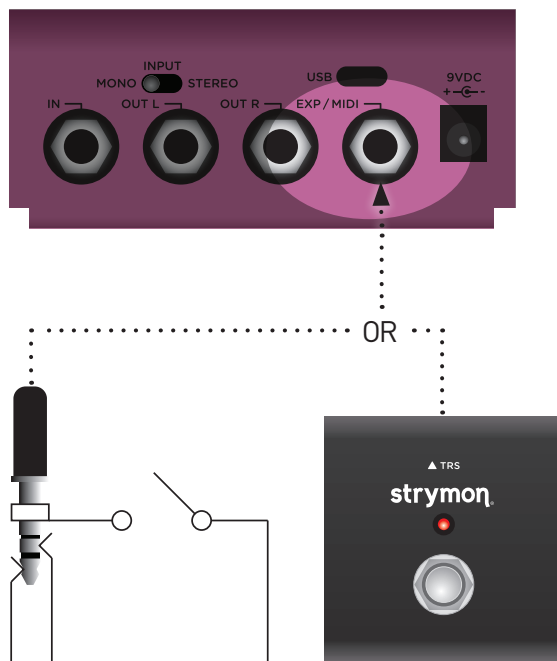
NOTE : エクスプレッションペダルの設定は、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

NOTE : DIGが**MIDI EXPRESSION**に設定され、**EXP/MIDIジャック**が**MIDIモード**に設定されると、エクスプレッションペダルはMIDI CC# 100 values 0 (ヒール) ~ 127 (トゥ) で動作します。

外部コントロール

フェイバリットスイッチ セットアップ&コンペア モード

フェイバリット設定のセーブとリコールには、MiniSwitchまたはTRSケーブル仕様のラッチスイッチを接続して行います。



- 1 EXP/MIDIジャックをFAV（フェイバリット）モードにします。
（詳しくは[20ページ](#)をご覧ください。）
- 2 外部スイッチをTRSケーブルでEXP/MIDIジャックに接続します。
- 3 コントロールをFAV保存するサウンドセッティングに設定します。
- 4 FAV設定を保存するには、**グリーン**に点滅するまで両フットスイッチを押しします。
その後、再度**TAPフットスイッチ**を長押しして、**TAP LED**が**ブルー**に点滅したらFAV
設定保存が完了です。

これで、外部フットスイッチを押しFAVセッティングとコントロール面のセッティングが切り替えられます。

外部コントロール

コンペアモード

FAVとMIDIプリセットがリコールされているとき、ノブやスイッチを変更しセーブされたプリセットポジションに合うと、両LEDが**グリーン**に点滅します。

NOTE : 両チャンネルの全ライブエディット設定とバイパス設定は、ノブやスイッチ設定と一緒にFAV&MIDIセッティングとして保存されます。パワーアップモードはプリセットには保存されません。

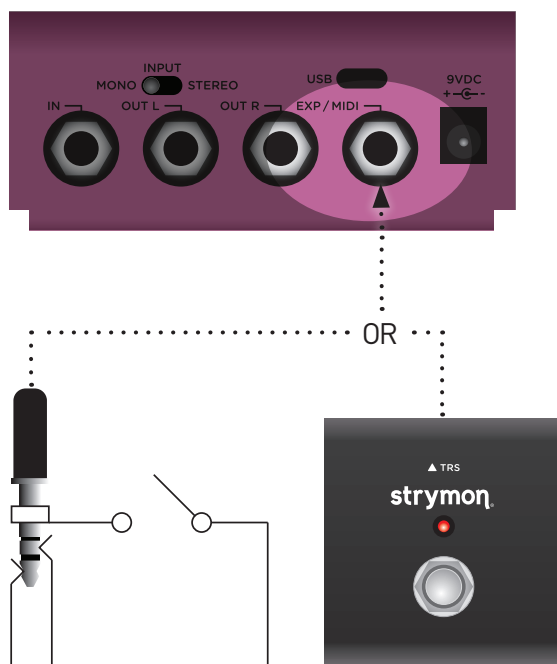
NOTE : MIDIを使用している際のプリセットセーブは方法が異なります。
(詳しくは[28ページ](#)をご覧ください。)

NOTE : FAVセッティングはMIDI PC #0番にセーブされます。

外部コントロール

タップモード

MiniSwitchまたは外部モーメンタリーフットスイッチをTRSケーブルで本機と繋ぎ、Delay 1のタイムをタップインします。



- 1 EXP/MIDIジャックをタップモードに設定します。
(詳しくは[20ページ](#)をご覧ください。)
- 2 外部スイッチをEXP/MIDIにTRSケーブルで接続します。
- 3 4分音符のテンポでタップ入力すると、Delay 1のディレイタイムが設定されます。

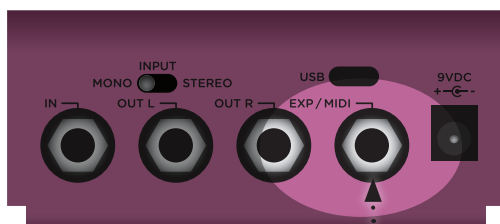
NOTE : タップモード中に外部フットスイッチを長押しすると、リピートが繰り返されます。フットスイッチを離すとノーマル動作に戻ります。

外部コントロール

MultiSwitch Plus の設定

本機とMultiSwitch Plusを接続し、3つのプリセットにリモートアクセスする設定方法です。

- ① **TAPフットスイッチ**を押したまま電源を投入します。
LEDの点滅が止まったらフットスイッチを離します。
- ② **TIMEノブ**を最小に回し（左に回し）、MIDIチャンネルを**1**に設定します。
TAP LEDは**グリーン**に点灯します。
- ③ **TONEノブ**を回し、次の**MIDI OUTオプション**を選択します。
両LEDが以下のように点灯します。：
 - MIDI CC、PC、他のデータを送る：ホワイト
 - MIDI CC、他のデータを送る：**グリーン**
 - MIDI PC、他のデータを送る：**パープル**
 - 他のデータを送る：**アンバー**
- ④ **MIXノブ**を右へ回しきり、**EXP/MIDIジャック**をMIDIモードにします。
ON LEDは**ブルー**に点灯します。
- ⑤ いずれかのフットスイッチを押し、MIDIチャンネル、**MIDI出力セッティング**を保存してプレイモードへ戻ります。
- ⑥ 本機の**EXP/MIDIジャック**にTRSケーブルを接続します。



- ⑦ MultiSwitch Plusの**Aフットスイッチ**を長押ししながら、TRSケーブルをMultiSwitch Plusに接続し、プリセットモードを選びます。



外部コントロール

MultiSwitch Plus の使用法

MultiSwitch Plusで本機のプリセットをセーブ&セレクトします。



NOTE : MultiSwitch PlusのフットスイッチA、B、Cは、MIDI PC (プログラム チェンジ) 1、2、3に相当します。

- 1 点灯していないフットスイッチを踏み、プリセットをリコールします。
- 2 点灯しているスイッチを押して本機をバイパスします。

本機のプリセットを MultiSwitch Plus でセーブする：

- 1 セーブしたいサウンドセッティングを設定します。
- 2 両LEDが**グリーン**に点滅するまで、本機の両フットスイッチを長押しします。
- 3 MultiSwitch PlusのA、BまたはCスイッチを押しセーブ先を決めます。

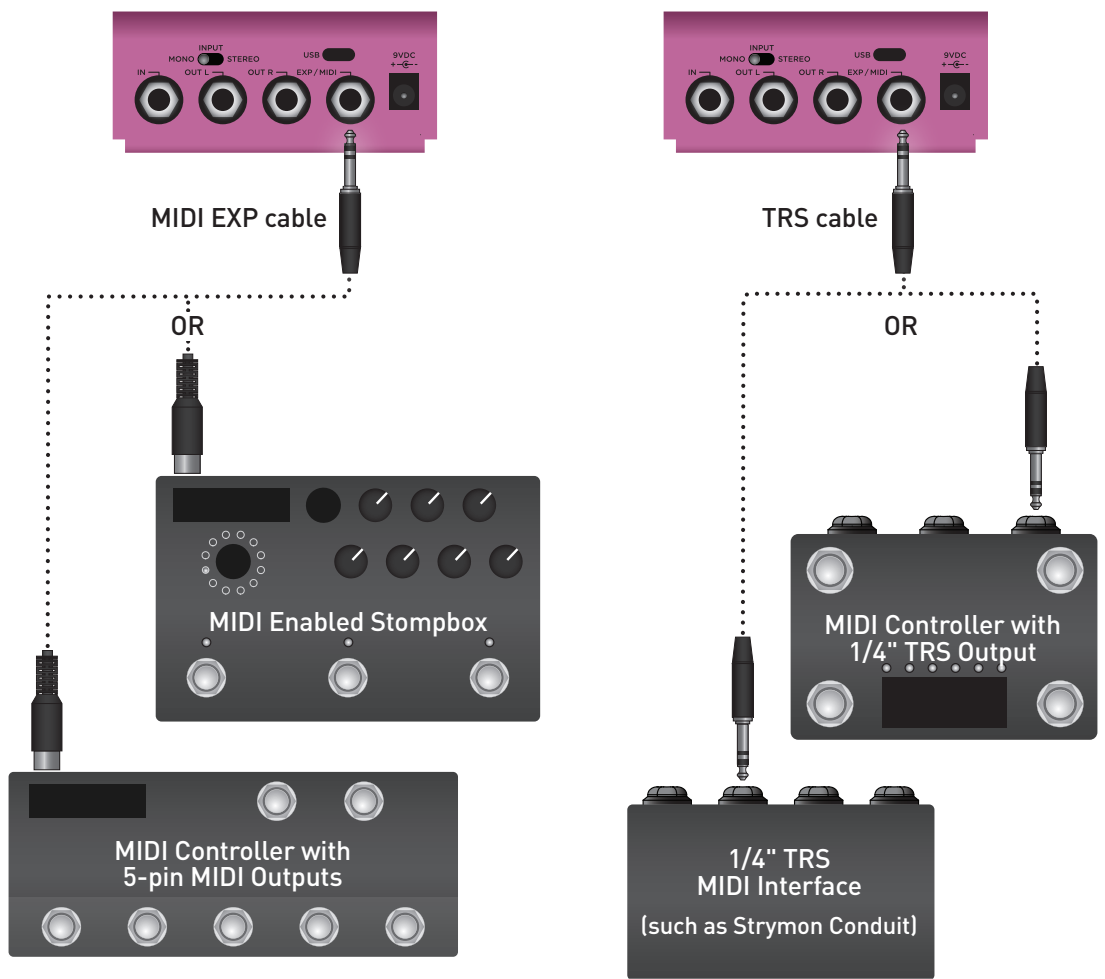
MIDI 機能

MIDI 使用の準備

本機のEXP/MIDIジャックに接続されたMIDIコントローラーまたはインターフェースで、本機の300プリセットへアクセスできます。図のように1/4フォーン出力を備えたMIDIコントローラー/インターフェース、またはStrymon MIDI EXPケーブル、Strymon Conduitを使用します。

NOTE : Strymon MIDI EXPケーブルを使用する際は、MIDI OUTモードはOFFにします。
(詳しくは[32ページ](#)をご覧ください。)

strymon.net/support/dig-v2で適応機種を掲載しています。



MIDI 機能 - MIDI 使用法

ステップ 1 - EXP/MIDI ジャックを MIDI モードにセットする。

- 1 TAP フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。
両LEDが点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 ON LEDが**ブルー**に点灯するまで、MIXノブを時計回りに回します。

MIDI 機能 - MIDI 使用法

ステップ 2 - MIDI チャンネルの設定



- ③ TIME ノブを回しMIDIチャンネルをセットします。
TAP LEDがステータスを表示します。：

- Channel1：グリーン(デフォルト設定)
- Channel 2：アンバー
- Channel 3：レッド
- Channel 4-16：ブルー（要1/4”MIDI接続）

TAP LEDが一度ブルーに点灯し、MIDIプログラムチェンジ（PC）メッセージを受信するまで点滅が続きます。MIDI PCメッセージを受けると、本機で使用されるMIDIチャンネルが決まり、点滅が止まります。

MIDI 機能 - MIDI 使用法

ステップ 2 - MIDI チャンネルの設定



- 4 いずれかのフットスイッチを押すと、MIDIチャンネルがセーブされ設定が終了します。

NOTE : MIDIコミュニケーションの状態をチェックするには、**ONフットスイッチ**がバイパスの時に、CC#102で127のバリューを本機へ送ります。MIDI接続と設定が正しければ、**ONフットスイッチ** LEDがon (点灯します) になります。

NOTE : Strymon MIDI EXPケーブルを使用してLexヘータを送るだけの場合は、必ずMIDI OUTモードを**オフ**にしてください。(詳しくは、[32ページ](#)のMIDIOUTモードのセクションをご覧ください。)

NOTE : MIDIチャンネル設定は、フェイバリット毎やプリセット毎には保存されません。

MIDI 機能 - MIDI 使用法

ステップ 3 - MIDI OUT モードの設定

- 1 TAP フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。
両LEDが点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 TONE ノブを回し本機から出力するMIDIデータを決めます。
両LEDが点滅してステータスを表示します。

- **OFF : レッド** - MIDIメッセージは出力されません。（デフォルト設定）
- **THRU : ブルー** - 本機が受けたMIDIメッセージをそのままMIDI OUTへ出力します。
- **センドCC、PC、OTHER : ホワイト** - 本機が出力するMIDI CC、PC、Sysex（システムエクスクルーシブ）メッセージがMIDI OUTから出力されます。
- **センドCC、OTHER : グリーン** - MIDI CC、Sysex（システムエクスクルーシブ）メッセージがMIDI OUTから出力されます。
- **センドPC、OTHER : パープル** - MIDI PC、Sysex（システムエクスクルーシブ）メッセージがMIDI OUTから出力されます。
- **センドOTHER : アンバー** - MIDI Sysex（システムエクスクルーシブ）メッセージがMIDI OUTから出力されます。

- 3 いずれかのフットスイッチを押すと、MIDI OUTモードがセーブされ設定が終了します。

MIDI 機能

MIDI モードにおけるプリセットの保存

MIDIモードでは、300プリセットロケーションの何処へでもプリセットが保存できます。

- ① セーブモード（保存モード）へは、**両フットスイッチ**を長押しします。
両 LEDが**グリーン**に点滅し、MIDI PCメッセージの受信待ちの状態を表示します。



- ② 現ペダルステータスをプリセットロケーションにロードするには、**TAP フットスイッチ**をLEDが**ブルー**に点灯するまで長押しします。



現ペダルステータスをプリセットロケーションにロードするには、（現MIDIチャンネルで）MIDIプログラムチェンジを送ります。例：

- プリセットをセーブするのに、プログラムチェンジ#10をペダルのメモリーロケーションへ送ります。
- このプリセットをリコールするには、MIDIコントローラーまたはシーケンサーからプログラムチェンジ#10を送ります。

NOTE：ONフットスイッチを押してセーブをキャンセルします。

MIDI スペシフィケーション

MIDI プログラムチェンジ

本機には0-299までの300プリセットロケーションがあります。MIDIプログラムチェンジメッセージは最大128（0-127）のため、これらを以下のように3つのMIDIパッチバンクに振り分けます。

MIDI BANK 0 = プリセット 0-127

MIDI BANK 1 = プリセット 128-255

MIDI BANK 2 = プリセット 256-299

- 0 FAVセッティング（詳しくは[23ページ](#)をご覧ください。）
- 1 MultiSwitch Plus フットスイッチ 1
- 2 MultiSwitch Plus フットスイッチ 2
- 3 MultiSwitch Plus フットスイッチ 3
- 127 マニュアルモード

NOTE：一部のMIDIアプリケーションやコントローラーは、MIDIプログラムチェンジを「1」からスタートします。このような場合は、MIDIプログラムロケーションを1つ上げてください。

本機は通常の電源投入時には、MIDI Bank（バンク）「0」が選ばれるため、プリセットは初めの 127を使う方が良いでしょう。MIDI PCを受けてプリセットがロードされます。

MIDI Bank1または2を使用する際は、各MIDI PCの前にMIDI Bankチェンジメッセージ（MIDI CC #0とMIDI Bank#）を送る必要があります。

バンク0&パッチ127（MIDIメッセージ）を本機が受けるとマニュアルモードになり、本機のコントロール&スイッチの現セッティング（操作面の実セッティング）に戻ります。これはプリセットとしては保存されません。

MIDI スペシフィケーション

MIDI CCs

DIG - MIDI CC NUMBERS			
CC#	PARAMETER	RANGE	VALUE
0	Bank Select	0-2	{0=Bank 1, 1=Bank 2, 2=Bank 3}
11	Mod	1-3	{1=off, 2=light, 3=deep}
12	Time	0-127	
13	Time 2	0-127	
14	Tone	0-127	
15	Type	1-3	{1=24/96, 2=adm, 3=12 bit}
16	Mix	0-127	
17	Mix 2	0-127	
18	Repeats	0-127	
19	Delay 1 Subdivision	0-2	{0=dotted eighth, 1=quarter, 2=half}
20	Delay 2 Repeats	0, 127	{0=delay, 1-127=track}
21	Sync/Free	0-1	{0=sync, 1=free}
22	Config	0-2	{0=series, 1=ping pong, 2=parallel}
23	Dry Level	0-127	{0-126=dry level, 127=track mix}
60	MIDI Expression Off/On	0, 127	{0=off, 1-127=on}
63	MIDI Clock Off/On	0, 127	{0=off, 1-127=on}
93	Remote Tap	Any	
97	Circular Repeats	0,127	{0=release, 1-127=hold}
100	Expression Pedal	0-127	{0=heel, 127=toe}
102	Bypass/On	0,127	{0=bypass, 1-127=on}

NOTE : 全てのon/offパラメーターは、0 = off、他のパラメーター（1-127） = on で実行されます。多くのMIDIコントローラーは、「0&127」が「on/off」スイッチで使用されます。

NOTE : 一部のMIDIアプリケーションやコントローラーは、MIDIプログラムチェンジを「1」からスタートします。このような場合は、MIDIプログラムロケーションを1つ上げてください。

ファクトリーリセット

工場出荷時の状態に戻すプロセスです。

設定した機能やプリセットが全てファクトリーデフォルトセッティングに変更されます。

① ONフットスイッチを長押ししながら電源を入れます。

両LEDが点滅したらスイッチを離します。



② TIME2 ノブを0から100%まで2度回します。

両LEDが色を変え、**レッド**の点滅まで変化します。

- Turn 1 : アンバー
- Turn 2 : レッド
- Turn 3 : アンバー
- Turn 4 : 両LEDが**レッド**。この後リセットが始まります。

ファクトリーリセット

FACTORY DEFAULT SETTINGS	
EXP/MIDI Jack:	Assigned to Expression mode and configured to control the MIX knob
Input Level:	Instrument
Bypass Mode:	True Bypass
MIDI Channel:	1
MIDI Output Mode:	Off
MIDI Clock Sync:	Off
MIDI Expression:	On
Live Edit, Secondary Functions:	DELAY 1 SUBDIVISION = 12 o'clock, Quarter note DRY LEVEL = 100%, Track MIX SYNC/FREE MODE = 0%, Sync mode DELAY 2 REPEATS = 100%, Track delay 1 REPEATS CONFIG (Configuration Mode) = 0%, Series dual delay mode



Default Live Edit Setting

主な仕様

- ユニークなデジタルラックディレイのボイスिंगを備えた、独立2系統を備えたディレイユニットです。
- ツールステレオ仕様の各ディレイセクションは、トータル4系統のディレイラインが構築できます。
- 6つのデュアルディレイコントロールとトーンシェープノブ：Time、Time2、Mix、Mix 2、Tone、Repeats
- 1xモダン&2xクラシックデジタルディレイボイスिंग：24/96、adm、12 bit
- 5リズミックサブディビジョン：Triplet、Eighth、GoldenRatio、Dotted Eighth、Dotted Quarter
- 3つのモジュレーション設定：off、light、deep
- 5ライブエディット機能（セカンダリー機能）：Dry Level（ドライレベル）、Configuration Mode（コンフィグモード）、Sync/Free Mode（シンク/フリーモード）、Delay 1 Subdivision（D1サブディビジョン）、Delay 2 Repeats（D2リピート）
- サブディビジョン、ディレイ同期がない選択可能なフリーモード
- フットスイッチ長押しによるサーキュラーリピート（連続繰り返しリピート）
- Strymon MiniSwitch使用のリモートタップ入力
- 20ms-1.6sディレイレンジ（40ms-3.2sハーフノートDelay1サブディビジョン）
- 高性能ウルトラローノイズA/D&D/Aコンバーター
- ツールバイパス（リレースイッチング）
- インストルメント&ラインの両信号に対応可能な最大+8dBuのワイドヘッドルーム
- TRSエクスペッションペダル、Strymon MiniSwitch、MultiSwitch Plus、TRS MIDIが接続可能なエクスペッション入力
- MIDI CCs、MIDIクロック同期、300プリセットロケーションのフルMIDI機能をサポートします。
- コンピューターとのMIDIコネクション、ファームウェアのアップデートが可能なUSB-C ジャック搭載
- ハイパフォーマンス520MHz ARMスーパースカラープロセッサ
- 32-bit浮遊演算プロセッシング
- ステレオ入出力
- ハイインピーダンス超低ノイズClass-A JFETプリアンプ入力
- ローインピーダンスステレオ出力
- 堅牢軽量なアルミシャーシ
- Designed and built in the USA

スペシフィックेशन

入カインピーダンス	1 Meg Ohm
出カインピーダンス	100 Ohm
A/D & D/A	24-bit 96kHz
最大入力レベル	+10 dBu
S/N	115 dB typical
バイパススイッチング	トゥルーバイパス(リレースイッチング)
サイズ	(D) 11.4 cm x (W) 10.2 cm x (H) 4.4 cm

電源アダプター規格

9VDCセンターマイナス、300mA以上のアダプターを使用してください。
9Vより高い電圧を入力すると、本機に損傷を与えます。

Appendix 1 : サンプルセッティング

Sample Settings

CASCADING ECHOES



MIDI Program Change 0
MiniSwitch Favorite

DOWN FROM THE HILLS



MIDI Program Change 1
MultiSwitch Plus A

SUBTLE REPEATS



MIDI Program Change 2
MultiSwitch Plus B

DISTINCT BOUNCES



MIDI Program Change 3
MultiSwitch Plus C

SHORT ROOM



MIDI Program Change 4

ライブエディット機能

本機にはノブやスイッチがない幾つかのパラメーターが存在します。これらをライブエディット機能と呼び、[7ページ](#)で詳しく説明しています。

このページのサンプルセッティングは、この機能のデフォルト設定を採用しています。

Appendix 2 : パワーアップモード クイックリファレンス

パワーアップモード - クイックリファレンス

グローバルパラメーターと機能は、通常の電源オン/オフの際には設定が保持されます。

ジェネラル・オプション

- 1 **ON**フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。
両LEDが点滅したらフットスイッチを離してください。
- 2 ノブやボタンの機能設定は下記をご覧ください。
- 3 いずれかのフットスイッチを押してこのパワーアップ設定から出ます。

入力レベル

図を用いた説明は [17](#)
[ページ](#)をご覧ください

TIME ノブを回して、設定したいモードに合わせてください。
ステータスは **TAP LED** に表示されます。

- インストルメント：**グリーン** (デフォルト設定)
- ライン：**レッド**

バイパスモード

図を用いた説明は [18](#)
[ページ](#)をご覧ください

MIX ノブを回して、設定したいモードに合わせてください。
ON LED に表示されます。

- ツールバイパス：**グリーン** (デフォルト設定)
- バッファードバイパス：**レッド**

スピルオーバー モード

図を用いた説明は [19](#)
[ページ](#)をご覧ください

TONE ノブを回して、設定したいモードに合わせてください。
両 **LED** に表示されます。

- スピルオーバー オフ：**アンバー** (デフォルト設定)
- スピルオーバー オン：**パープル**

ファクトリーリ セット

図を用いた説明は [36](#)
[ページ](#)をご覧ください

TIME2 ノブを 0% ~ 100% まで 2 度回します。
ステータスは両 **LED** に表示されます。

パワーアップモード - クイックリファレンス

グローバルパラメーターと機能は、パワーアップモードを実行する際にアクセスできます。
通常の電源オン/オフの際には設定が保持されます。

MIDI & Jack オプション

- 1 TAP フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。
両LEDが点滅したらフットスイッチを離してください。
 - 2 ノブやボタンの機能設定は下記をご覧ください。
 - 3 いずれかのフットスイッチを押してこのパワーアップの設定から出ます。
-

EXP/MIDI ジャック モード

図を用いた説明は [20](#)
[ページ](#)をご覧ください

MIX ノブを回して設定したいモードに合わせてください。
ステータスは ON LED に表示されます。

- エクスプレッション：グリーン（デフォルト設定）
 - フェイバリット：アンバー
 - Tap：レッド
 - MIDI：ブルー
-

MIDI チャンネル

図を用いた説明は [30](#)
[ページ](#)をご覧ください

TIME ノブを回すと TAP LED がチャンネルステータスを表示します。

- 1：グリーン（デフォルト設定）
 - 2：アンバー
 - 3：レッド
 - 4-16：ブルー（受けた MIDI メッセージでチャンネルセレクトされます。）
-

MIDI アウトモード

図を用いた説明は [32](#)
[ページ](#)をご覧ください

TONE ノブを回すと両 LED がステータスを表示します。

- OFF：レッド（デフォルト設定）
 - THROUGH：ブルー
 - ON CC、PC、OTHER：ホワイト
 - ON CC、OTHER：グリーン
 - ON PC、OTHER：パープル
 - ON OTHER：アンバー
-

Appendix 3 : ライブエディットコントロール クイックリファレンス

ライブエディットコントロール - クイックリファレンス

Lexには、特定ノブやスイッチのない幾つかの機能が隠されています。
これらはプリセット毎にセーブできます。詳しくは[7ページ](#)をご覧ください。

- 1 両LEDが点滅しライブエディットモードに入るまで、**ONフットスイッチ**を長押しします。
- 2 フットスイッチを離し、次の説明に従って設定します。
- 3 **ONフットスイッチ**を押して、設定を保存しライブエディットモードから出ます。

ドライレベル

図を用いた説明は
[7ページ](#)をご覧ください

MIX ノブを回すと、両 LED が**グリーン**（ドライ）～**アンバー**（ユニティゲイン）でステータスを表示します。ノブを最大まで回すと**ブルー**に点灯します。

コンフィグ（デュアルディレイモード）

図を用いた説明は
[9ページ](#)をご覧ください

MIX2 ノブを回すと、**ON LED** が**グリーン**（left- シリーズ / デフォルト設定）～**アンバー**（センター / ピンポン）～**レッド**（right/ パラレル）とステータス表示が変わります。

シンクフリーモード

図を用いた説明は
[12ページ](#)をご覧ください

TIME2 ノブを回すと、両 LED が**グリーン**（同期、デフォルト設定）～**レッド**（フリー）とステータス表示が変わります。

Delay 1 SUBDIVISION

図を用いた説明は
[13ページ](#)をご覧ください

TIME ノブを回すと、**TAP LED** が**グリーン**（left/ 付点 8 分音符）～**アンバー**（center/ 4 分音符）～**レッド**（right/ 2 分音符）とステータス表示が変わります。

Delay 2 REPEATS

図を用いた説明は
[14ページ](#)をご覧ください

REPEATS ノブを回すと、両 LED が**グリーン**（シングルリピート）～**アンバー**（最大フィードバック）～最大では**レッド**（/Delay2 が Delay1 のリピートに追従します。）とステータス表示が変わります。

MIDI クロック同期

図を用いた説明は
[15ページ](#)をご覧ください

TYPE スイッチを **12bit**（ダウン）または **24/96**（アップ）にすると、両 LED が一時的に点灯します。

- **12bit** : OFF、**レッド**（デフォルト設定）
- **24/96** : ON、**ブルー**

MIDI エクスプレッション

図を用いた説明は
[16ページ](#)をご覧ください

MOD スイッチで **deep**（ダウン）または **off**（アップ）を切り替えます。両 LED が一時的に点灯します。

- **deep** : OFF、**レッド**
- **off** : ON、**ブルー**（デフォルト設定）

品質保証に関して

本機はStrymon 日本総代理店 株式会社HotoneJapanが、ご購入後1年以内の品質保証を行っております。修理が必要な際は、購入時の保証書(購入期日及び販売店の捺印 必須)を提示の上、購入された販売店にご依頼下さい。保証書の提示が無い場合は、保証内であっても保証の対象にはなりません。

保証対象者は「購入者」であるファーストオーナーに限られます。中古品を売買するサイトや販売店からの中古品、譲渡された製品は、この保証の対象にはなりません。また、海外で購入されたstrymonプロダクトは、国内では保証の対象にはなりませんので、ご了承ください。

ノート：全てのstrymon製品はシリアルナンバーが登録&保存されています。

注：本書に記載された文章、図版、作品は、全て「著作権」及び、それに付随する「著作権隣接権」等の諸権利を保有しています。弊社では、内容を理解することを目的とする使用方法のみを許諾しております。

▲ 警告：安全のため、特に注意していただきたいこと

1. 異常があるときは電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入先もしくは、弊社迄ご連絡下さい。異常な音がしたり、煙が出て異臭がした時などは、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
2. 電気ショックを避けるため、本体を絶対に開けないで下さい。本機は、高電圧が発生しているため危険です。内部に触ると感電する恐れがあります。内部の調整や修理は、弊社にご依頼下さい。また、火事や感電を避けるために、湿度が非常に高い場所に置いたり、雨天の際に野外で使用することは避けて下さい。

▲ 警告：次のような場所での使用は出来る限り避けて下さい。

- 湿度の非常に高い場所
- 砂やほこりが多い場所
- 台所、バスルーム、湿気の多い地下室など、水のかかりやすい場所
- 空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くなど、温度が高い場所

品質保証に関して

■ 取り扱いについて

乾いた柔らかい布を使用して、外装をきれいに保ちましょう。
クリーナーやシンナーは使用しないでください。

■ サービスについて

このマニュアルに記載されていない操作や取扱いは行わないで下さい。
記載外の使用法で本機を使用されますと故障する場合があります。本書に基づいた使用法に限定してください。記載外の使用法による破損や修理は、保証期間中の機器であっても保証対象外になります。本体の取扱いは慎重に行なって下さい。万が一、負傷された場合でも弊社では一切の責任を負いません。
修理が必要な場合は、ホームページ内の「修理について」ページよりご連絡ください。

strymon 正規輸入販売代理店
株式会社HotoneJapan

113-0034 東京都文京区湯島2-2-4 JP-BASE御茶
ノ水 9F

一般のお問い合わせ：ホームページ内の「お問い合わせ」
ページよりご連絡ください。
商品の修理について：ホームページ内の「修理について」
ページよりご連絡ください。